

# 3Doctors Collaboration Seminar In Kagoshima

## ペリオ・エンドを熱く語ろう！ インプラント0(ゼロ)を目指して！

我々のクリニックには、毎日多くの患者さんが様々な主訴を持って来院されます。その中で重度の歯周的問題や歯内的問題を抱えている患者さんでは、抜歯を余儀なくされるケースも少なからずあることは否定できません。しかし、最初から抜歯を望んで来院される患者さんはほとんどなく、すぐるような想いで我々歯科医師に希望を託します。我々はその想いを真正面から受け止め、あらゆる診査を行い、治療法を検討しますが、もしその結果抜歯と診断されても、確固とした根拠を持ったうえで責任を持って行うことが求められます。すべての歯は延命処置であり、何年生存するかを補償するものではありません。

その一方、インプラントの予知性が大きく向上したことを受けて、安易な診断のもと抜歯の基準が低くなっている事実があります。インプラントはもうすでに欠損してしまったところを補うための材料であって、決して天然歯に代わるものではありません。また、近年インプラントに伴う問題点も少なからず指摘されています。

今回は、異色の3人の初めてコラボであり、ペリオとエンドの立場から“歯の保存”にフォーカスを当てて、好き勝手な講演を行うという企画が実現しました。多くの先生方、衛生士の方々のご参加をお待ちしております。



船登 彰芳 先生  
Akiyoshi-Funato



福西 一浩 先生  
Kazuhiro-Fukunishi



白石 和仁 先生  
Kazuhito-Shiraishi

2022年

4月 10日 (日)  
10:00~16:00

会場

かごしま県民交流センター 大研修室第1  
鹿児島市山下町14-50 代表 ☎099-221-6600

定員

80名様

受講料

歯科医師様 15,000円  
コ・デンタルスタッフ様 5,000円 (昼食費・税込)

問合せ

(株)UKデンタル鹿児島店 ☎099-254-0509 担当：財部

※新型コロナウイルス感染対策に  
ご協力の程お願い申し上げます。

### 【 3Doctors Collaboration Seminar in Kagoshima 参加申込書 】

|      |     |        |   |
|------|-----|--------|---|
| 御名前  | /   | /      | / |
| 貴医院名 |     |        |   |
| 御住所  |     |        |   |
| TEL  | FAX | UK担当者名 |   |

※ご記入いただきました個人情報は、本セミナー開催および運営の為に使用させていただきます、これ以外の目的には使用いたしません。

UK DENTAL

FAX 099-254-0715



**船登 彰芳 先生**  
【Akiyoshi-Funato】

【ご略歴】

1987年 広島大学歯学部卒業  
1991年 石川県羽咋市  
なぎさデンタルクリニック開業  
1998年 石川県金沢市  
なぎさデンタルクリニック移転開院  
2008年 5-D Japan  
(石川・北島・福西・南らと) 設立

【所属】

5-D Japanファウンダー  
アメリカ歯周病学会会員  
アメリカインプラント学会会員  
ヨーロッパインプラント学会 (EAO) 会員  
ヨーロッパ審美学会 Affiliate member

## 歯周治療の現状と未来

インプラント治療が、普及するにつけインプラント周囲炎・顎骨の成長に伴う天然歯との不調和が多数報告されるようになった。もちろんインプラント治療を否定するものではないが、われわれは今一度天然歯の保存に務めるべきではないだろうか。今回、演者の歯周治療の軌跡を紹介し、反省点もふくめて過去の症例を供覧し、現在・未来の歯周治療の方向性にも言及してみたい。



**福西 一浩 先生**  
【Kazuhiro-Fukunishi】

【ご略歴】

1986年 大阪大学歯学部卒業  
1997年 福西歯科クリニック開院  
2000年 大阪大学歯学部非常勤講師  
(口腔総合診療部)  
2001年 医療法人福西歯科クリニック開設  
2006年 大阪大学歯学部臨床准教授  
2008年 5-D Japan  
(石川・北島・船登・南らと) 設立  
2009年 医療法人宝樹会設立

【所属】

日本歯内療法学会  
日本臨床歯周病学会  
日本口腔インプラント学会  
日本顎咬合学会  
米国歯内療法学会 (AAE)  
国際外傷歯学会 (IADT)

## 歯の保存を極める～Happy endo になるために～

私の歯科医師としてのライフワークは、歯内療法的に抜歯と診断された歯が本当に救うことはできないのかを追及することにあります。当クリニックには、毎日のように他医院で抜歯しかないとされた歯を残して欲しいと、来院される患者さんが後を絶ちません。それらの患者さんのすべての想いは、「できるだけ歯を残して欲しい」ということで、抜歯をしてインプラント治療を望んでいる方はほとんどいません。歯科医師の使命は、歯を保存することであり、生体の治癒力を最大限に引き出すことにあります。今回の講演では、まずは「歯髄を残すこと」から始めて、最終的に「歯を救うこと」に繋げていきたいと思っています。我々歯科医師が歯の保存を諦めた時点で患者の希望は失われます。「絶対に諦めない歯内療法」をお伝えしたいと思います。



**白石 和仁 先生**  
【Kazuhiro-Shiraishi】

【ご略歴】

1987年 福岡歯科大学卒業  
同第二補綴顎講座入局  
1989年 熊本市鳥取歯科医院勤務  
1992年 北九州市にて開業  
2015年 白石歯科歯周再生クリニックへ  
屋号変更

【所属】

日本歯周病学会認定歯周専門医  
日本臨床歯周病学会認定医  
日本顎咬合学会指導医  
日本審美歯科協会会員  
日本口腔インプラント学会会員  
日本包括歯科臨床学会会員  
北九州歯学研究会会員  
簡井塾包括臨床コース講師  
3 I インプラント公認メンター

## Challenging periodontal regenerative therapy for severe case

演者の臨床には「抜歯か？保存か？の判断基準」など無いに等しいと言えます。われわれ歯科医師の仕事とは、たとえ残せる可能性が数%であったとしても、その歯の保存に一度は全精力を注ぎ込まなくてはならないからです。臨床には「Evidenceに縛られないChallenge」も必要です。なぜならば、それ無くして術者側の技術の進歩と向上は成しえないからです。今回はそのChallenging Caseを長期経過症例を交えながら提示することにします。



## かごしま県民交流センター アクセス

鹿児島市山下町14-50 Tel099-221-6600

【鹿児島市電】水族館口電停下車→徒歩4分

【J R】鹿児島駅下車→徒歩10分

【バス】水族館口下車→徒歩5分

【駐車場】普通車500台 (地下1F・2F)

30分毎につき150円

※交流センター利用者様2時間まで無料